

■After		URまちとくらしのミュージアム ラボ41/スターハウス44			
建築名称 下段:英語名		UR MUSEUM OF URBAN AND LIFESTYLE DESIGN Lab 41 / Star House44			
建築用途		大分類 住居施設		小分類 集合住宅	
設計者		トータルメディア開発研究所			
所在地		東京都北区赤羽台1-4-50		Google Map	
改修年		2026年		元建築の竣工年 1962年	
建築規模 構造・階数・面積		RC造、5階建、建築面積:579.89㎡、延床面積:2,609.02㎡		After	
掲載書誌		新建築 2026年8月号		撮影者 提供者 UR都市機構	
賞・選定		登録有形文化財		概要 after	
主な関連法規、条例、助成金等		建築基準法、消防法		躯体改修(スターハウス44)及び用途変更(ラボ41)を伴うリノベーションを実施し、一部(41-103のキッチンラボと41-104のクラフトラボ)は2026(令和8)年に運用開始予定。	
関連組織等		Open A、洲崎洋輔＋寺田彩瑛子、日東設計事務所、竹中工務店、ノウサクジュンペイアーキテクト、VUILD、岩淵家守舎		概要 before	
資料等		スターハウス44 平面図・断面図		資料のURL	
■Before		URまちとくらしのミュージアム ラボ41/スターハウス44		概要 before	
建築名称		URまちとくらしのミュージアム ラボ41/スターハウス44			
建築用途		大分類 住居施設		小分類 集合住宅	
■写真		旧赤羽台団地 スターハウス 住戸内観		After スターハウス44-102 デザイン ラボ	
Before					
撮影者 提供者		撮影:志岐祐一 提供:日東設計事務所		撮影者 提供者 UR都市機構	
■関連タグ/リノベーションキーワード		スケルトン、合体、外観保存、用途変更、補強		After スターハウス44-501 「大きな ケヤキと囲い庭」	
■リノベーション内容		＜ラボ41-103(キッチンラボ)、104(クラフトラボ)＞ 1階2住戸を、共同住宅から店舗へ用途変更し、活動の拠点として再生を図った。施設整備は、建築基準法や消防法などの関係法令への対応が求められたことから、従前の住戸玄関が設けられていた階段室側の出入り口を閉鎖し、新たに広場側からアクセスできる動線を整備した。 ＜スターハウス44-102(デザインラボ)＞ 1階住戸の特性を生かし、床を落とすことで天井高を確保した。賑わい・交流拠点として、多様な利活用を想定した様々なサイズの棚が配置されている。 ＜スターハウス44-501(大きなケヤキと囲い庭)＞ 2021年に実施したURまちの暮らしコンペティション「スターハウスの未来にある暮らし」で最優秀賞に選出された「大きなケヤキと囲い庭」を実現するため、3住戸を2住戸とする躯体改修をした。内装は既存躯体を活かしつつ、「囲い庭」を通して部屋同士がゆるやかにつながる構成となっている。			
■備考		ラボ41(キッチンラボ、クラフトラボは除く)、スターハウス42・43・44の内部は一般公開をしておりません。外観のみご覧頂けます。 詳細はURまちとくらしのミュージアムのHPをご覧ください(https://akabanemuseum.ur-net.go.jp/)。			
■作成者 氏名／所属		所芳昭/UR都市機構		作成協力者	
				整理番号 No 261	